

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	2018年												2019年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~7日	7月 ~14日	7月 ~21日	7月 ~28日	8月 ~4日	8月 ~11日	8月 ~18日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	22	24	31	25	39	0 (32)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	20	6	10	15	15	15	0
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	1	2	1	1	3	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	3	4	1	3	2	6	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	3	1	4	10	2	3	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	1	0	1	0	1	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	0	0	0	0	0	1

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第33週(8月12日~8月18日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	4	結核	4		2			1	1		
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2		1				1		
四類	3	日本紅斑熱	2			2					
		レジオネラ症	1							1	
五類全数	6	急性脳炎	1			1					
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1						1		
		梅毒	1								1
		百日咳	3		1	1					1

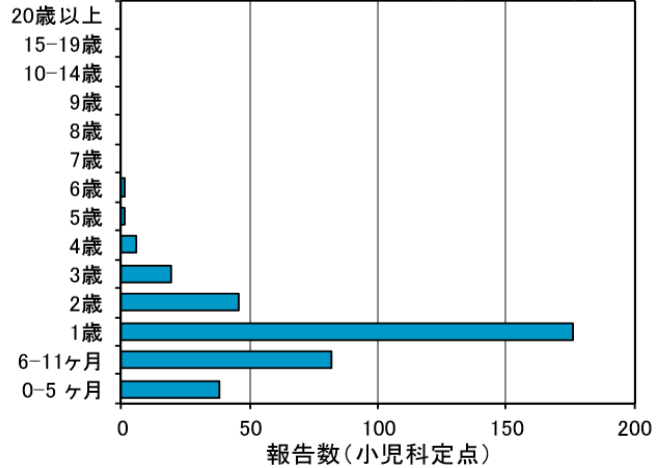
注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第33週 8/12～8/18)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

RSウイルス感染症 年齢階層別報告数
(2019年第1～33週累積)

1. RSウイルス感染症

7月以降、報告数が増加しています。

2019年第1～33週の累積報告数(369件)の年齢階層別では、1歳(47.7%)、0歳(32.5%)、2歳(12.5%)の順に多く、2歳以下が全体の92.7%を占めています。1歳未満の乳児は、重症化することがあり、特に注意が必要です。

乳幼児の周囲の方は、手洗いを励行し、咳などの症状がある場合にはマスクを着用するなど感染予防対策を心がけましょう。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

第33週はお盆期間中のため、医療機関の休診の影響により患者報告数が少なくなっている可能性があります。そのため、「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	
フィン	インフルエンザ	3	0.09	0.02			小児科	流行性耳下腺炎	1	0.05	0.42		急増減	増減	微増減	横ばい	
小児科	咽頭結膜熱	5	0.25	0.33			小児科	RSウイルス感染症	11	0.55	0.61		急増減	増減	微増減	横ばい	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	1.00	1.07			眼科	急性出血性結膜炎	1	0.14	0.03		急増減	増減	微増減	横ばい	
	感染性胃腸炎	39	1.95	2.60			眼科	流行性角結膜炎	3	0.43	0.98		急増減	増減	微増減	横ばい	
	水痘	4	0.20	0.35			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		急増減	増減	微増減	横ばい	
	手足口病	23	1.15	1.47				無菌性髄膜炎	-	-	0.06		急増減	増減	微増減	横ばい	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.09				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.37		急増減	増減	微増減	横ばい	
	突発性発しん	6	0.30	0.30				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		急増減	増減	微増減	横ばい	
	ヘルパンギーナ	14	0.70	0.69				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		急増減	増減	微増減	横ばい	

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	32
小児科定点数	20
眼科定点数	7
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	106	女性(60歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱 麻疹	不明	男	2019/07/09	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA6型
手足口病	筋力低下	3	女	2019/07/11	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA6型
					咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
ヘルパンギーナ	発熱(38.5) 咽頭炎	8	男	2019/07/09	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
ヘルパンギーナ	発熱(39.3) 口内炎 嘔気	0	男	2019/07/10	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
流行性角結膜炎	結膜充血	20	男	2019/07/15	結膜擦過物	アデノウイルス37型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載